414フレンドリーデー2009 for babies and mothers　にご協力いただいた皆さまへ

この度は、414フレンドリーデー2009 for babies and mothers　にご協力いただき、誠にありがとうございました。

遅くなってしまいましたが、レポートをまとめましたので、お送りさせていただきます。

今年のテーマは、for babies and mothers。藤田の個人的な経験に基づいたテーマにも関わらず、政井マヤさん、大橋マキさん、丸の内カフェさんをはじめ、多くの方々にご賛同、ご協力いただき、イベントを企画実施出来たことに心から感謝しております。

「世界中みんな仲良く」と掲げるフレンドリーデー。

そのコンセプトは、いかにも単純で、あまりにも「青い」。

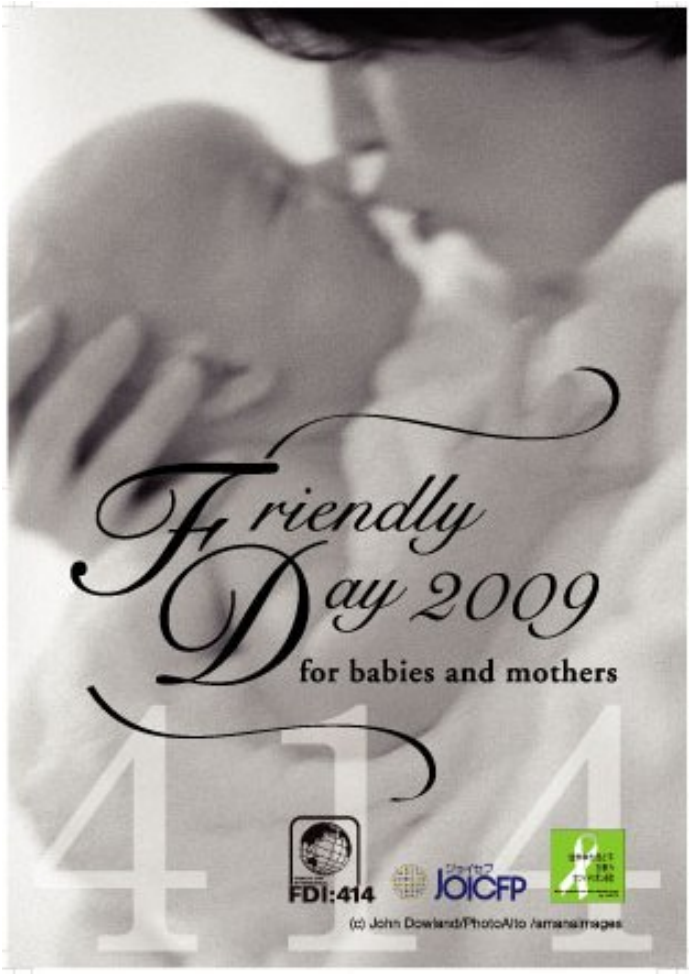
ただ、この地球には様々な問題が溢れています。今も尚続く戦争や紛争、環境問題、貧困格差の問題、経済問題、雇用問題、教育問題、医療問題、自殺問題など。その問題は、多すぎて複雑過ぎて、どう解決していけばいいか見当がつなかいほど。

だからこそ、こんな複雑な世の中だからこそ、馬鹿みたいにシンプルに、「世界中みんな仲良く」

せめて一年に一度だけ、世界中の人が、この気持ちを共有する日があってもいいと思うのです。そんな想いで、フレンドリーデーの呼びかけを続けています。FDIに出来るかたちで。背伸びはせずに。

Happy FriendlyDay！

フレンドリーデーインターナショナル
代表　藤田　香織



Report : Friendly Day 2009

開催概要

4月14日はフレンドリーデー

フレンドリーデーとは、世界中みんなが仲良くする日。

今年は、babies and mothersをテーマに、財団法人ジョイセフ（家族計画国際協力財団）ご協力のもと、 世界のお母さんを笑顔にするため、世界の妊産婦と出産事情について考える写真展、トークセミナーを開催しました。

なぜ、テーマがbabies and mothersなのか
これは、代表藤田の出産体験に遡ります。代表の藤田は、2008年春に出産を経験していますが、妊娠8 ヵ月のときに原因不明の腹部激痛のために救急車で運ばれそのまま入院。出産まで寝たきりの生活を強いられ、横になった状態のままPCを開き、自分とお腹の子の状態について調べていました。その時に、財団法人ジョイセフの事業の一環であるホワイトリボン運動に目が留まり、自分よりももっと過酷な条件で出産している女性が多いことを知ります。そこで「何か力になりたい」と思い、2009 年のフレンドリーデーのテーマ設定に至りました。

▼写真展開催期間：2009年4月10日（金）～19日（日）10日間

▼アロマセラピスト大橋マキさんによるオリジナルアロマ演出：同10日間

▼使用済み切手・カードの回収：同10日間

▼トークセミナー開催日：2009年4月12日（日）14時～15時40分

▼開催場所：丸の内カフェ（東京都千代田区）

▼協賛：株式会社スーパープランニング　株式会社ヘミングス　株式会社アマナイメージズ

▼協力：財団法人ジョイセフ　aromamora　大橋マキ（アロマセラピスト）　アットアロマ株式会社　丸の内カフェ　株式会社イデー　三菱地所株式会社

▼企画運営：フレンドリーデーインターナショナル

Copyright©2009 Friendly Day International All rights reserved.

写真展

写真家　内堀タケシさんが、アフリカ・タンザニアとアフガニスタンで撮影した「おかあさん」と「子どもたち」の写真を展示しました。

内堀タケシ（写真家）プロフィール

1955年東京生まれ。「なにげない日常」をテーマにルポを続ける。
海外取材は50カ国に及ぶ。
国内では俳句関連の取材で各地の暮らしや風土、季語を取材。
「NHK俳句」のテキスト写真を担当。
著書：「アフガニスタン勇気と笑顔」国土社
日本写真家協会会員

Copyright©2009 Friendly Day International All rights reserved.

アロマ演出

アロマセラピストの大橋マキさんに、フレンドリーデー2009のオリジナルアロマをデザインしていただき、写真展開催中に空間演出しました。当時、大橋さんはオランダ・アムステルダムへの渡航直前で、非常にお忙しい日々を過ごされていたのですが、フレンドリーデー2009のコンセプトをお話したところ、次の打ち合わせに3パターンものオリジナルアロマをデザインしてきてくださいました。その中のひとつが代表藤田のイメージにピッタリとはまり、実現に至りました。

協力：aromamora　大橋マキ（アロマセラピスト）　アットアロマ株式会社

大橋マキさんからのメッセージ

太陽のようなエネルギーに満ちた暖かさのなかに、守るべき存在を宿し、確固たる芯を感じさせる母の香りを作りました。母になる女性たちの笑顔とエネルギーを写真とアロマから感じて頂けたら嬉しいです。

精油）ベルガモット、ローズマリー、マンダリン、シダーウッド、レモングラス、イランイラン、ユーカリ、ジンジャー

大橋マキ（アロマセラピスト）プロフィール

1976年、神奈川県生まれ。フジテレビアナウンサーを退職後、英国に留学。イギリスの美しい自然の中で暮らしながら植物療法を学び、IFA認定アロマセラピスト資格を取得。以後、アロマセラピストとして病院で活動するほか、執筆、翻訳、テレビやラジオのナビゲーターなど、様々な分野で活躍中。環境問題やLOHASをテーマにしたトークショー、シンポジウムなどへの出演も積極的に行っている。'08年1月に第一子となる長女を出産し、子育てを通じてさらに環境問題への関心を高めている。主な著書に『アロマの惑星』『日々香日』『セラピストという生き方』など。また翻訳に『ハーブティーバイブル』がある。オリジナルブレンドアロマオイル「aromamora」のプロデュースも手掛け、季節に合わせたブレンドを紹介している。

切手・カードの回収

写真展開催中に、使用済み切手・メータースタンプ、カードの回収をおこないました。これらは、日頃ジョイセフが呼びかけているもので、回収されたものは、収集家に買い取っていただき、それが寄付金になります。自宅でこつこつと集めてくださった方から、会社内に呼びかけて多く回収してくださった方まで、多くの方のご協力をいただきました。ここで回収されたものは、すべてホワイトリボン運動に寄付いたしました。

Copyright©2009 Friendly Day International All rights reserved.

ゲストに、フリーアナウンサーの政井マヤさんをお迎えし、トークセミナーを開催しました。

日時：2009年4月12日（日）14:00〜15:40

Talk：政井マヤさん（フリーアナウンサー）/　高橋秀行さん（財団法人ジョイセフ理事・国際協力推進グループ部長）/ 藤田香織（フレンドリーデーインターナショナル）

Navigator：morphie（モルフィ / アーティスト）

◆以下、トークセミナー報告（フレンドリーデー2009公式ブログ/ 藤田wrote より抜粋）

トークセミナー終了しました。
意識高い方々にお集まりいただき、トークセミナーが終了した後も、個人的なトークが延々と続いていました。すてきな出会いもあり、このようなイベントを企画して良かったなと思えた瞬間でした。

トークは、壇上に置かれた自転車に触れることから始まりました。豊島区のご協力で、実際にこれから寄付される放置自転車をお借りすることが出来たのです。

「放置自転車」と聞くと、駅前などに長い間放置してあり、泥やホコリがついて、汚いイメージがあったのですが…
意外や意外、非常に綺麗。そのまま使いたいくらい。

では、何故この放置自転車が現地に寄付されて重宝されているのか。

世界では、1分に1人の女性が妊娠や出産が原因で命を落とし、その99%が途上国の女性です。

その原因は多岐にわたりますが、

出産時の不衛生な環境、不適切な処置
お産介助者の知識不足と技能不足
保険や医療サービスを受けられない

といったことがあげられ、実は隠れた大きな要因として、

『手遅れ』『クリニックにたどりつかない』 ということがあるそうです。

片道10〜20キロの道のりのバス代が払えず、徒歩で移動、
とは言え、陣痛が起き始めている妊婦さん、あるいは、問題のある妊婦さんはスタスタ歩けないから、（私の経験上、一歩歩くのがやっと…）その結果、出血多量などで手遅れに…といったケースが。

そこで、ママチャリが活躍するのだとか。

後ろに荷台を付けて、救急車の役目を果たすのです。

さらに、自転車は、非常に高価なもの。
その価格は、ひとつの家庭の年収に相当します。
そんな高価なものを、遠く離れた日本人がプレゼントしてくれた、しかもそれは新しい命を産む妊婦さんを救うため…。そういうことなら、その気持ちに忠実に、自転車をそのように使おう！と、現地の方の関心が高くなり、周りの協力も増える、と言います。

（次ページにつづく）

Copyright©2009 Friendly Day International All rights reserved.

(前ページのつづき)

また、驚いたことに、ママチャリは日本特有のものなんだそうです。

世界に普及している自転車の多くは、中国製あるいはインド製で、ハンドルからサドルにかけて、ポールが一本通っていて、足を高く上げないとまたげない…。日本のママチャリは、女性がスカートを履いたまま乗れる、まさに、女性のために作られた自転車なのです。

こんなことを教えていただきながら、話は佳境へ。

これからどんなアクションをしていけばいいのか。

政井さんは、「大人としてのアクション」を提案されていました。
どこか自分が賛同出来るNGOや団体を決めて、自分に合った、適したかたちで寄付をしていく。
お金をそのまま寄付してもいいし、何か回収することに努め、寄付してもいい。それを続けていくことが大切、とおっしゃっていました。政井さんは、実際に月々一定の金額を決まった団体に寄付されているそうです。

そして、わたし(藤田)は、ジョイセフさんのホワイトリボン運動の「草の根活動」をリスペクトし、やはり出来ることをひとつずつ、ひたすらこつこつ続けて行きたい、と思いました。FDIは、アートやデザインを導入しながら、今までチャリティや社会活動に関心のなかった方たちにきっかけを与えられるような、そんなプロジェクトを作っていきたい、
その想いに忠実に、ちょっと面白いすてきなプロジェクトをクリエイトし続けていこうと思っています。
今回呼びかけさせていただいている使用済み切手の回収はもちろんのこと、日々いただくコーヒーを、ジョイセフさんが販売されているフェアトレードコーヒーに変えたり…。小さいけれど、だけど確実に自分に出来ることを続けて行きます。

長くなりましたが、お忙しい中足を運んでいただいた皆さま、ありがとうございました。

Copyright©2009 Friendly Day International All rights reserved.

広報関係

【フライヤー設置協力店】

以下のお店に、フライヤーを設置していただきました

・丸の内カフェ　http://www.marunouchicafe.com/

・イデーショップ　（自由が丘店 / 二子玉川店 / 東京ミッドタウン店）　http://www.idee.co.jp/shop/index.html

・イデーショップ　エカルテ

・デリエ イデー

・CONCIERGE　（伊勢丹立川店 / 西銀座デパート店 / 町田東急ツインズ店 / 玉川高島屋S・C店 / remy gotanda店）　http://www.concierge-net.com/

・CONCIERGE FAMILLE　たまプラーザ東急SC店　http://www.concierge-net.com/

・CONCIERGE GRAND 代官山店　http://www.concierge-net.com/grand/

・un petit coeur　（新丸ビル店 / ecute立川店 / LUMINE新宿店 / 自由が丘店 / 新宿マルイ店）　http://www.concierge-net.com/upc/index.html

・ROOTOTE GALLERY　（代官山店 / 丸の内店 横浜ジョイナス店）　http://www.superplanning.co.jp/rt_gallery/

・MR.FRIENDLY Café　http://www.mrfriendly.co.jp/fr_net3/02_shop/index.html

・こどもビームス　http://www.beams.co.jp/labels/kids/child-beams.html

・APRICA　代官山店　http://www.aprica.jp/hm/index.html

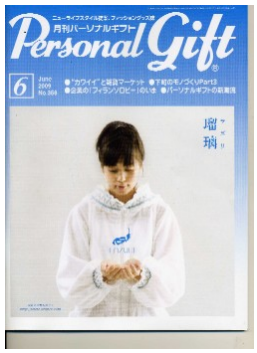
【フライヤー配布協力イベント】

以下のイベントで、参加者全員にフライヤー配布をさせていただきました

・49 NIGHT　http://www.love49.org/day.html

【メディア掲載情報】

以下のメディアに掲載していただきました



◆新聞・雑誌

・読売新聞（平成21年4月11日土曜日くらし面）

・月刊パーソナルギフト6月号（平成21年6月1日発行「企業の社会貢献」欄）

◆フリーペーパー

・Marunouchi EVENT BOX（2009 vol.51）

◆インターネット

・marunouchi.com http://www.marunouchi.com/

・大橋マキBlog　http://aromania.cocolog-nifty.com/maki_o/2009/04/post-5597.html

・マサイマヤ族母になる Mother to be…　http://www.cafeblo.com/mayajounal/

他、多数

Copyright©2009 Friendly Day International All rights reserved.